

会 議 録

会議の名称	第55回小金井市公立保育園運営協議会次第	
事務局	子ども家庭部保育課	
開催日時	令和2年11月21日(土) 午後4時30分～5時30分	
開催場所	市役所第二庁舎8階 801会議室	
出席者	五園連	清澤 雄 委員 (くりのみ保育園) 後庵 公彦 委員 (くりのみ保育園) 河津 秀輝 委員 (わかたけ保育園) 木内 亮 委員 (小金井保育園) 澤口 香織 委員 (小金井保育園) 菊本 紗代 委員 (さくら保育園) 小林 麻意子 委員 (さくら保育園) 森 遼平 委員 (けやき保育園) 鈴木 雄大 委員 (けやき保育園)
	市	大澤 秀典 委員 (子ども家庭部長) 三浦 真 委員 (子ども家庭部保育課長) 平岡 良一 委員 (子ども家庭部保育政策担当課長) 杉山 久子 委員 (わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員 (小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員 (さくら保育園園長) 池田 由美子 委員 (けやき保育園園長)
欠席者	原 広樹 委員 (わかたけ保育園) 前島 美和 委員 (くりのみ保育園園長)	
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	6人	
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 前回国議録の確認 (2) 令和2年度 アンケート (速報版について) (3) その他 ア 次回日程の確認	
発言内容・ 発言者名 (主な 発言要旨)	別紙のとおり	
会議結果	1 開会	

	<p>2 議事</p> <p>(1) 前回会議録の確認</p> <p>(2) 令和2年度 アンケート（速報版について）</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 次回日程の確認</p>
提出資料	(1)資料246 令和2年度公立保育園の運営に関するアンケート調査集計（速報版）
その他	なし

開 会

○大澤委員長　それでは、ただいまから、第55回小金井市公立保育園運営協議会を開会させていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、議題の1でございます。前回の9月12日の会議録のほうの確認をさせていただきますと存じます。

事前に委員のほうにお渡しをさせていただき、チェックをしていただいたところではございますが、修正のご意見等がございませんでしたので、皆様方に配布をさせていただいた会議録をもちまして決定とさせていただきますと存じますけれども、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○大澤委員長　それでは、前回の9月12日の会議録につきましては、決定をさせていただき、速やかに会議録につきましてはホームページのほうに掲載をさせていただきますというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、議事の2番目、令和2年度アンケート（速報版）についてを議題といたします。

本日、資料246で、令和2年度公立保育園の運営に関するアンケートの調査集計の速報版の資料を用意させていただきました。こちらのほうにつきまして、三浦委員のほうからご説明をよろしくお願いいたします。

○三浦委員　それでは、資料246につきまして、ご説明をいたします。この資料は、前回の運営協議会でご承認をいただきまして、9月18日から10月2日までの期間で実施いたしましたアンケートの集計結果について、速報値をまとめたものでございます。今回は、昨年度との違いというか、昨年度との比較についてを中心にご説明をさせていただきますと思います。

それでは、資料246のほう、順を追って説明いたしますので、ご覧いただければと思います。

まず、1ページの上段です。回収率、こちらにつきましては、今年度の回収率は合計で59.91%となっております。昨年度に比べて4ポイント高い結果となりました。

た。ご協力いただいた方々、皆さん大変ありがとうございました。この席を借りて御礼申し上げます。

次に、1ページの下段から2ページにかけてですが、公立保育園に対する全体評価について調査した内容でございます。「①満足している」「②おおむね満足している」を選択した方の割合が95%でございます、こちらは昨年とほぼ同じ割合となっております。

1枚おめくりいただいて、2ページの上段に参りまして、「満足している」と回答された前ページ42.92%のグループの理由を見ますと、保育士の園児への対応、保育内容、給食内容の順となっております、こちらも昨年と同様の結果の順位でございました。

すみません、1ページの下段にお戻りいただきまして、全体評価で「③あまり満足していない」「④不満である」と回答された方々は、260人中12人、全体の5%程度でございましたが、その内訳は2ページの下段でございます。理由を拝見いたしますと、施設・設備のところ、⑨番のところを書かれている方が7人で一番多い結果となったところが特徴的な部分でございます。

次、3ページでございます。保育ニーズについてでございますが、一番多かったのが「K 民営化問題の解決」、2番目に多かったのが「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」となっております。こちらは、一昨年度まで、一昨年ですね、平成30年度調査までは「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」が1番だったところ、昨年、民営化問題のところは1番となりまして、今年度も昨年と同じく民営化を選択した方が一番多いという結果となっております。

また、昨年度、3番目に選択した方が多かった、「Q 待機児童解消」でしたけれども、今年度は「T 設備面の改善」が3番目に多い結果となったところもございまして、こちらも施設の老朽化が進んでいるということで特徴的な部分でございます。どんどん行っちゃいます。

4ページでございます。こちらは、前回の運営協議会のご議論の中で、新型コロナウイルスに関する質問を追加してはどうかというご意見がございまして、追加項目とした新型コロナウイルスに対する対応等に関する自由記述についてでございます。

集計作業の関係でご回答いただいた内容は全てではなくて記載いただいたものについて、便宜的に大きく七つに分類させていただきまして、それぞれの区分に対応する件数

及びコメントの内容の一部を抜粋し記載をさせていただいております。

なお、この七つの分類につきましては、記載内容の傾向を大まかにつかむ趣旨で事務局のほうで振り分けたものでございますので、場合によってはご記載いただいたご本人の意図と異なる分類となってしまう可能性があります。この点につきましては、あらかじめご了承をいただければと思います。また、1人で複数の意見をご記載いただいた方も多くいらっしゃるため、意見の合計件数と意見を書いた人数は一致してございません。

では、内容でございます。まず最初、年度当初にご協力をお願いいたしました登園自粛に関するご意見、こちら①、②でございます。それから、今後のコロナの状況や基準等に関する不安やご要望、③です。園での生活や園での感染予防に対するご意見、ご要望が④、⑤、中止や縮小をさせていただいた行事についてが⑥、園の職員に関するご意見、⑦という内容でご意見等を記載させていただきました。

一つひとつのご意見につきまして、この場で、具体的に今後こうしていきますということをお知らせするのはなかなか難しいところですが、今後も新型コロナウイルスにしましては対応を継続していくこととなりますので、今回いただいたご意見を参考に、市として、また、それぞれの園で適切に対応を行ってまいりたいというふうに考えてございます。

改めまして、過去に例のない大変な状況の中でございますが、保護者の皆様には様々ご不便をおかけすることとなりました。この場を借りまして、保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝を申し上げますとともに引き続きのご協力を重ねてお願い申し上げます。

次、5ページでございます。「3. 公立保育園の保育の状況について」の(1)でございます。こちらは、表の中の(1)から(12)それぞれの項目について、「はい・いいえ・わからない」の回答の割合をスケールバーで表現をさせていただいております。

この項目では、項目番号の(6)、(7)、(10)について、「わからない」と答えた方の割合が、昨年と比較して増加傾向を示してございます。特に、(10)の行事に関する項目については、昨年から15%以上増加をしてございまして、私どもといたしましては、その要因として、先ほど申し上げました新型コロナウイルスの影響で、そもそも行事等を例年どおり実施できなかった影響があるのではないかとこのところ考えて

いるところでございます。

最後、6ページでございます。上段の(2)のところでございます。通っていて良いと感じる項目の集計結果ですが、上位三つは「③外で思い切り体を動かして遊べる」「⑩栄養バランスが取れた豊富な献立が提供されている」「④遊びや活動が工夫されている」で、昨年と同様の結果でございます。

続いて、その下、「4. 小金井市の公立保育園の保育士体制について」です。

こちらにつきましては、③体制が十分ではなく云々を選んだ方が一番多い状況は昨年度と変わりませんが、①特に問題ない、⑤わからないという選択を選んだ方が、①については17人から46人へ、⑤については28人から41人へと増加傾向がございました。こちらも例年になく運営方法でございましたので、新型コロナの影響によるところが大きいかなというふうに考えるところです。

最後に、全体を通しましての所感でございます。今年度につきましては、特に新型コロナに関する設問を追加し、皆様の関心も高い内容でございますので、多くのご意見、ご要望を記載いただきまして、今後の保育中で生かしてまいりたいと考えてございます。その他の項目につきまして、保護者の公立保育園に対する考え方や課題として感じられていること、ニーズ等の傾向という意味では、施設の老朽化に対するご意見が増加傾向にある点などもございましたけれども、運営面へのご意見について前年から大きな変化はない結果となっているものと認識をしております。

なお、自由記述欄も含めた記述部分の集計につきましては、次回の運営協議会でお示しできるよう、現在、準備を進めている状況でございます。

簡単ではございますけれども、資料246の説明は以上でございます。

○大澤委員長 ただいま、今年度のアンケートの集計結果につきまして、総括的な分析等も含めて、三浦委員のほうからご説明をさせていただいたところでございます。まだ速報版という状況ではございますが、委員の皆様方からご意見、ご質問等がございましたら、ご発言よろしくお願いたします。

○菊本委員 さくら保育園、菊本です。

わかたけ保育園さんにお伺いしたいんですけど、このアンケートの回収率が71%でとても高くて、さくら保育園は33%なんですけど、どのようにアンケートをされたか、教えていただきたいです。

○河津委員 普通に配って、あと箱に入れてくださいという。

- 菊本委員 特に勸奨というか、期限が短いので出してくださいとやっているわけでなく。
- 河津委員 たしか、らくらく連絡網とかで連絡があったかもしれないですね、一斉の。
- 菊本委員 ほかにあるんですか、連絡ツールが。
- 河津委員 はい。
- 菊本委員 ありがとうございます。
- 河津委員 逆に、さくらさんが何で33%なのか、ちょっと気になったんですけど。
- 大澤委員長 今、回収率の状況について、わかたけさんが71.43、去年より10%上がったところのご質問があり、それに関して保護者のほうで対応していただいたことを今ご回答をいただいたというふうな形になりますけれども、何か追加で。
- 河津委員 さくらさんは何で低かったんですかね。
- 菊本委員 紙を配られて、そのまま何も、忘れちゃった人は出さなかった。特に回収率を上げる努力というのはなかったように思うんですが、なぜなのでしょう。
- 大澤委員長 よろしいですか。
- 菊本委員 はい。
- 大澤委員長 ほかに忌憚のないご質問、ご意見をいただければと思いますけれども。
清澤さん。
- 清澤委員 くりのみの清澤です。
ご説明いただきありがとうございます。結果は、共有させてもらって分かったんですけど、市としては、じゃあこれを、何を、どう着目して、具体的にどうやって生かしていくのかという計画はどのようなものなんでしょうかというのを確認したいなと思いました。
保育の現状の話と改善に生かしていくという、そのご説明は、もちろん以前に受けているんですけど、その総論はもちろんオーケーだと思うんですけど、その各論の部分というのを、どうなっているのかなというのを思いました。
- 大澤委員長 今、この結果を踏まえて、各論の部分に関する考え方というような形でのご質問をいただきましたが。
三浦委員。
- 三浦委員 三浦です。
ありがとうございます。なかなか難しいご回答になるかなと思っているんですが、昨年度も、たしかこのアンケート等をいただきまして、導入したのが公立保育園のメール

配信システムなんかはこのアンケートが土台になって実質、導入した経過がございます。私ども、この計画をつくる前にもう予算要求時期が過ぎていましたので、これとフィットするかどうかという点も含めて、今、施設の改修等について、ちょっとこの場で具体的に言うところは、なかなか難しいところなのですが、やらなければならないところ、あるいはやっていきたいところも含め、優先順位をつけて予算要求はさせていただいているところでございます。

なので、何かをすると、当然予算が必要になってきますので、その点も含めて、明らかにできるような状況になれば、こういうことがアプローチできましたよというところはお示ししたいと思っております。

○大澤委員長 今、施設面に関して予算の、今年度につきましては、ちょっと予算編成時期が1か月早まっているというところがございます。まだ、その辺の結果がちょっと出ていないところがありますので、またその辺は明確になった段階で、特に施設の修繕であったり、工事であったり、そういったところにつきましては、またご報告をさせていただくような形で、まず今回につきましてはご理解をお願いいたします。よろしいですか。

○清澤委員 はい。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

○後庵委員 くりのみ、後庵です。

4ページ目の「⑥行事の実施」で「5園足並みを揃えて対応していることに対して不満を感じる。」というのがあるんですけど、ほかのコメントに比べてちょっとこれだけ、どういう意見なのかなというのが私にはよく分からなかったんですけど、市側としては、私は5園足並み揃っているほうがいいんじゃないかなと思いつつも、こういう意見があるということは、何か心当たりがあるというか、こういう意見が出てきているのかなというのは、何かもうちょっと分かったりしますか。

○三浦委員 三浦です。

5名の足並みを揃えて対応しているという、コロナのところですよ。4ページのところの⑥のところですよ。例えば、園、5園ありますけれども、行事そのものの時期が各園によって若干ずれていたりするので、その場合によって足並みを揃えているというところがちょっとご不満に思われたのかな。言っていること分かります。何か私の説明、とんちんかんですね。

行事をやっているときでも、ある園と最後の園と時間がずれることがあり得るんです。

このときにコロナの感染状況が世間的に違う場合が起きるわけですね。そのときに園同一で足並みを揃えているというところがご不満なのかなというところは若干感じたりします。

○後庵委員　　くりのみ、後庵です。

ということは、もうちょっと柔軟に判断ができなかったんですかという意見と捉えられているということではないですか。

○三浦委員　　そうですね。すみません。ただ、私どものほうとすると、公立でばらばらにという考え方は正直難しいと思っています。一つは、行政がやっている、保育の主体というか、運営主体は市、同じですので、園がばらばらに対応することは私自身、好ましいことだとは思っていません。

○大澤委員長　　よろしいですか。

○後庵委員　　はい。ありがとうございます。

○大澤委員長　　ほかにございますでしょうか。

○小林委員長　　さくら、小林です。

今、コロナで保育士さんの仕事が消毒とか、それからお昼寝の時間とか、いろいろやらなきゃいけないことがとても増えて、ここにもちょっとありますけど、たくさん負担が増えて連絡帳があまり書けないとか、いろいろあるんですけど、人員の増員とか、例えば何か対策は考えられているんですかね。

○三浦委員　　三浦です。

正直申し上げて、確かに今、消毒作業とか、おもちゃの消毒とか、一個一個、手で拭いていただいている状況は認識しているところなんですけど、それ用のちょっと人員というところは正直、難しいかなという思いです。ただ、園の中ではご工夫をいただいているというふうに伺っていますので、後で園長たち怒らないでくださいね。ご工夫をいただいていますので、消毒に関しては適切にやっているつもりであります。

○大澤委員長　　よろしいですか。

○小林委員長　　小林です。

毎年上がっている、保育士さんの人員が足りないんじゃないかという順位が結構高いんですけど、これに対する職員の配置状況とかをいつも出していただいていますけど、今のところの、すみません、ご説明をもう一回お願いしてもいいですか。今、実際は足りない状態にいるんですか。基準からいってというか、保育士不足という状態なんです

かね。

○大澤委員長 ちょっと職員体制に対して。

平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

今、職員さんのところの状況については、足りていないところの要因としては、今までの傾向と同じです。具体的にいいますと、産休や育休の代替の人が見つからない状況が中心になっているというところがあります。

あとは、いろんな働き方がある中で、朝夕手伝っていただいている、昔は朝夕パートさんと言っていたんですが、そういう方々の確保がなかなか難しい状況になっているというのは傾向として以前から同じ状況というようなところにはなっています。

資料としては、このところ、ちょっとお出ししていない状況なんですけど、状況としては、こちらとしていい状況とは思っていないんですけども、以前と比べて状況としては改善されているところまでは至っていないで、厳しい状況が続いているというのは事実であります。

○大澤委員長 よろしいですか。

○小林委員長 はい。ありがとうございます。

○大澤委員長 ほかにご意見、ご質問等ございますでしょうか。

菊本さん。

○菊本委員 さくら、菊本です。

先ほどのさくら保育園のアンケートの回収率が低いということについて、ちょっと会長からフォローをいただきまして、提出先のポストが玄関にあるんですけど、さくら保育園は、幼児が玄関からではなくて外の階段から預けることになっていたの、ポストに行けなかったの、用紙の提出ができなかったということでお話があったんですけど。

預けはそんなに各園で、さくら保育園だけ幼児がそんなに玄関に入れなくて、ということがあったのか、ポストの位置がさくら保育園だけ悪かったのか、ちょっとそこが気になりました。

○柴田委員 さくらの柴田です。

確かにその傾向はあったかなというふうには、アンケート結果を見て思ったんですけど、ポストに入れられないという状況があったので……、違う、各部屋に封筒を貼って、そこに回収をしますというような流れだったと思うんですね。それが各部屋の廊下から入

っていけないので、幼児クラスに関しては貼り紙というか、登降園の時間のとき、皆さんが目にする場のところに、玄関のところに入れるポストがあるので、そちらのほうに入れてくださいというようなご案内をしてやっていたのですが、確かに経路としては庭から外階段を上って各部屋の幼児室にお迎えに行ってもらおうというような幼児さんのやり取りをしていたんですね。なので、通りすがりに入れていくというような形は取れなかったんですが、比較的ノートに挟んでくださったりとか、あとは、出す場所に入れなかったということよりは多分お手間として忙しい中でそちらに回りにくかったということも回収率が低かった一つの原因かなというふうには思っていますが、全然入れないという状況をつくったつもりはないですけど、アナウンス的に保育園から1回、貼り紙をずっとつけておいたということしか、園からもしていないので、案内としては他園よりは少し不親切なところが、もしかしたらあったかなというふうには思っています。

以上です。

○菊本委員 分かりました。

○大澤委員長 よろしいですか。

○三浦委員 物理的にすみませんでした。私のほうから質問していいですか。

以前からこのアンケートについてウェブでできないかというお話をずっといただいて、研究はしているんですけども、まだ結論は出ていないです。逆に、ウェブでやると回収率は上がるような感じですかね。上がるような気がされますかね。

そうですか。分かりました。ちょっとこのままのスタイルだと難しいのは分かってきましたんですが、もう少し設問項目をきゅっと、短文というか、短くというんですかね、選択肢が多いと複雑なアンケートになってしまうので、そこら辺をどう工夫できるかを今、研究をしてございます。

可能であれば、来年からウェブでやれるといいよね。うん、約束はできないですけど。というところで、そちらのほう宿題として持って帰っておりますが、アンケートのほうの電子化もちょっと研究させていただきたいと思います。

○大澤委員長 今、来年度に向けてということで、ウェブで、メールについては前から言われております。改めて研究をしている最中ですので、来年度に向けまして、ちょっとまたお時間をいただければというふうに思います。

そのほかに、こちらのほうの議題に関しまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○大澤委員長 それでは、1月の会議で資料のほう、記述式も含めて皆様方にお出しできるよう精査してまいりたいと思っておりますので、また、1月のほうの会議の中でも議題として取扱いをさせていただき、こちらのほうの(2)令和2年度アンケート(速報版)については以上とさせていただきたいと存じます。

続きまして、(3)その他という形で、まず、2点ほど、市の事務局のほうから少しお話をさせていただきたいと思います。

では、まず、コロナのほうの関係のご報告等という形で、少しお時間をいただきたいと思います。

では、三浦委員のほうからお願いいたします。

○三浦委員 それでは、小金井保育園で、ちょっとコロナウイルスの関係で一旦、恐縮ですが、休園期間を設けさせていただきましたので、その関係については改めて、口頭報告になりますけれども、ご説明を申し上げます。

時系列的にご報告をいたしますので、メモを取る必要はないかなと思うんですが、よろしくをお願いします。

まず、今回でございますけれども、小金井保育園さんのほうで保育士1名の方が10月19日の勤務終了後にご自宅で発熱され、翌20日にご自宅の近くの医療機関で受診をされた結果、PCR検査陽性ということになりました。この結果が、22日の3時半くらいに分かりまして、一定の手續、保健所さん等とやり取りを含めて行いまして、当日22日のうちに、翌日23日からの当面の間休園しますよという決定をさせていただきました。この時点で園児、お迎えにいらっしゃる保護者への連絡を開始して、並行して、一斉メールのほうで速報を配信をしたところでございます。

その翌日の10月23日の午前中に多摩府中保健所の職員の方が小金井保育園さんのほうに来訪されまして、疫学的見地、専門的な見地から当該職員の最終勤務日である10月19日に遡って、当時の状況のヒアリングを経て、濃厚接触者の特定を行うこととなりました。この結果を受けまして、10月23日6時ぐらい保健所から連絡を受けて、濃厚接触者の方を特定し、園長に連絡をしたところでございます。

今回は、ちょっと残念なことに2人目の感染者が同じ時期に出まして、この方はお一人目の感染者同様、市の職員でございますけれども、1人目の濃厚接触者が特定される前に2人目のご本人の方が体調不良を感じて、同じく自宅近隣の医療機関で受診したと

ころ、23日にPCRを受けて、26日に陽性だというふうの結果が出たということになりました。なので、ちょっとパラレルに事態が動いていたという状況がございます。

その後、休園期間につきましては、当初ご案内したとおり、11月2日までとして、3日が文化の日で休みだったので、4日から再開というところは動かさずに進めてきたところがございますが、消毒作業につきましても10月28日の日に専門業者によりまして、施設内の各室のpH調整次亜塩素酸水の空間噴霧といって、霧をばあっと出して空間に出して空間上の洗浄をした。それから、床面の次亜塩素酸ナトリウムの噴霧といって、床面は拭いた。それから、便器、その他手が届くところ、そこら辺のところはアルコールによって拭き取りをしたというところで、これらの作業は終わったので、予定どおり4日の日に再開をしたところがございます。

今回、行政といたしますと、10月22日の午後に陽性反応が出たわけなんですけど、同日のうちに断定的な休園期間を決定して周知を行い、翌23日の夕方には濃厚接触者の確定をお知らせするなど、各ご家庭への速やかな情報提供に努めたところではございますが、しかしながら、より一層情報の迅速化を求める声が届いていることも認識してございます。これ以上の対応が可能かどうか、正直難しい面もあるとは思っておりますけれども、なるべく早く情報を出せるように今後も努めてまいりますので、何とぞご理解いただきたいというふうに思っております。なので、ちょっと情報が遅かったんじゃないかという声が届いておりますが、我々としても限界のところはあったかなというところでご理解いただければありがたいところがございます。

私のほうからは以上ですが、ほかにもございますか。

○大澤委員長 今、コロナにつきまして、まず概要のご報告のような形をさせていただいたところでございます。これは、職員、児童にかかわらず様々なケースが想定される形になります。現行でいきますとかなり、今日もまた500人以上というような形で出ているみたいな状況でございますが、検査の数もかなり増えてきているというふうに伺っています。お子さんの場合は、PCR検査という、鼻をちくつというふうな形だと思うんですけども、ある程度、大人になってきますと唾液検査というところが今、主流で行われているような状況がございます。

また、その発熱の時期がどのような形でなられたかとか、あと、お住まいになっている居住先の保健所が動いたりとかという形があり、どうしても様々なところでタイムラグが出てきてしまう状況がございます。

保育園につきましては、3密に気をつけるような中での運営というふうな形もありますが、様々な点、今後とも、なかなか完全というような形はできにくいところもありますけれども、皆様方につきましては、ご理解、ご協力方よろしくお願ひしたいというふうな形の思いでございます。

今の報告等につきまして、何かご質問等がございましたらお受けしたいと思いますけれども、よろしいですか。

(なし)

○大澤委員長 次に2点目でございます。前回、鈴木委員のほうから、避難情報警報の時期というような形でご質問を受けたところがございます。先月も台風が来て、大きな形にはなりませんでしたが。我々のほうも、まだ決定しているわけではないんですけれども、幾つかの市を調査させていただいて、小金井市においては大きな河川がない状況ではございますが、幾つかの市では避難情報の発令時についてガイドラインというのを定めているところが分かったところがございます。

まず、今後、我々市が何か対応するに当たりましては、やはり特別大雨警報が発令されたような場合というような場合がまず一つ考えられるかなと思ってございます。そのほかに、基本的に警戒レベルというものを今度、市町村のほうが発令をしていく形になります。いわゆる警戒レベルが3ぐらいになりますと、避難準備、高齢者等避難開始と。警戒レベルが4になりますと、いわゆる避難勧告、避難指示という形で市町村のほうが発令していく形になりますけれども、やはりこういったものが発令された場合ということも対応を考えていかなければいけないというふうな形があるかと思っています。

それと、昨年、起こりましたけれども、計画運休というところがありまして、やはり交通関係が動かないという形があった場合、当然、職員のほうも様々な交通機関を使って対応しているケースがございます。いずれにしても、職員、またお子さん、そういった方の安全の管理等も踏まえて対応を考えていかなければいけないというふうな事案になるかなと思ってございます。

それと、当然、判断をする時期というものもやはり先ほど申したような状況の前日であったり、また、交通機関になりますと、当日のほうの可能性もございますので、当日の朝の時点、また、当然、開園している最中においてでも、そういう発令が判断をしなければいけない時期があるかなというふうな思いでは思っています。

あと、これまでの対応が臨時休園というような形をしながら、特別保育を実施するの

かどうか。また、前回みたいな形で登園の自粛の要請、家庭での保育の願いをしながら保育を実施というような対応など、まだいろいろ内部でちょっと検討をしなければいけない事項があるというところがございます。今、一定、内部でも様々な意見が出ているところがございますが、先当たりまして、特別大雨警報が出た場合とか、やはり警戒レベルがかなり高いのが出た場合、それと計画運休というような形が出た場合については、一定の対応をしていく必要があるというところまでは内部で協議が進んでいるところがございますので、また一定の、こういったもののガイドラインが出来上がった際には、またご相談をさせていただく形になるかと思いますが、今まだ、ちょっと検討している状況があるというところだけ、すみません、お時間をいただいております。よろしくお願いいたします。

この件につきまして、よろしいでしょうか。

(なし)

○大澤委員長 それと、3点目でございますが、平岡委員、お願いします。

○平岡委員 では、かねてからご心配をおかけしております、民営化の市のほうの進捗状況についてお伝えさせていただきたいと思っております。

前回と同じような説明になってしまうところは、誠に申し訳ございませんが、引き続き、庁内で今後について検討を続けている状況でございます。前回もお話した部分がありますので若干繰り返しになりますが、現在お示ししている令和4年4月というスケジュールは、基本的には難しい状況かなというふうに私どもとしては認識しているということが、まず一つあります。

それから、民営化のやり方について、数年前に運営協議会の中でも若干細かいものを資料としてお配りしたこともあったかと思いますが、その部分も含めて現在検討を直しているという状況になっております。かねてから、いつ頃にはっきりするのかというご質問をいただいているところがございますが、大変申し訳ございませんが、現時点で、この時点で何かお出しできるというところまで、まだ練り上がっていない状況が続いておりますので、今日は進捗状況のみ報告をこの場でさせていただきました。よろしくお願いたします。

○大澤委員長 今、平岡委員のほうから、民営化に関します進捗につきまして口頭にてご説明をさせていただいたところがございますが、これらも含めまして、ご意見、ご質問等がございましたら、よろしくお願いたします。よろしいでしょうか。

鈴木委員。

○鈴木委員 前回の第54回会議のほうで配られた資料245(3)の新型コロナウイルス感染症対策ということで、まだ未執行の部分があるというお話でしたけれども、執行状況について伺います。

○大澤委員長 今、鈴木委員のほうから、前回コロナに関する資料のほう出させていただいて、その執行状況というふうな形でご質問をいただいたところでございます。

では、三浦委員のほうからお願いいたします。

○三浦委員 245のところで、新型コロナウイルス感染症対策、(3)番のところですかね。まず、読み上げますと、保育室の換気のために天井扇の取替えの修繕を9月までに実施予定というところですが、こちらにつきましては、おおむね終わってございます。

それから、換気のために老朽化した網戸の修繕を実施予定というところがございますが、ちょっとこちらは一部、まだできていないところもございます。それから、老朽化した午睡用の布団の買換えにつきましては、契約は済んでいるんですけども、納品まで至っていないという状況でございます。すみません。執行率何%と言えないんですけども、こんな形になります。よろしく申し上げます。

○大澤委員長 今、三浦委員のほうから前回出した資料についての進捗というような形でご説明させていただきましたが、鈴木委員、それでよろしいですか。

○鈴木委員 ありがとうございます。

○大澤委員長 こちらのほうからは、以上の3点がその他というような状況になりますけれども、保護者委員のほうから何かご質問等がございましたら、よろしく申し上げます。

平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

今の資料245をお開きになっていらっしゃる方が多いと思うんですけども、この時点でお伝えできなかったことがあるので、併せてお伝えさせていただきます。

5番のところの病児保育なんですけれども、10月下旬から2か所目の病児保育室がオープンしております。場所としましては、武蔵小金駅の南口のすぐそばのビルのところで、小規模保育施設ですとか、診療所とか、薬局が入っている建物があるんですが、そちらのところにひよこ保育室というのが小児科さんの併設ということで10月下旬からオープンしております。

このときにもお伝えをしているんですけども、施設ごとに事前の登録が必要となり

ますので、ご利用に当たって登録だけ先にしておいていただいたほうがスムーズかと思
いますので、ぜひ皆様のご登録のほうをよろしく願いをいたします。

なお、料金、定員、その他については、基本的にはほぼ同様となりますので、今日、
資料をご用意していなかったのは申し訳ないんですが、もし差し支えなければ、ホーム
ページ等でも紹介しておりますので、ご覧をいただければと思います。よろしく願い
いたします。

○大澤委員長 今、すみません、平岡委員のほうから追加で病児保育のほうの関係の状況につきまし
て、ご報告をさせていただきました。

改めまして、保護者委員のほうからご質問、ご意見等ございますか。

小林委員長。

○小林委員長 さくら、小林です。

どこかの園でコロナの方が出てしまった時に、休園になる期間を、例えばそのとき濃
厚接触者には当たらず、陰性である園児の一時保育とかの受入れというのはされて
いるんですか。

○平岡委員 平岡です。

ご質問の内容を確認するような形でお話しして、ちょっと補足があれば詳しい者から
お話をしてもらいたいと思うんですけど、要は、園が休園になりました。でも、陽性で
も濃厚接触者でもないお子さんを別の施設で一時保育として預けるとか、そういうこと
というのはできないのかという趣旨でよろしいですか。

○小林委員長 そうですね。受入れていらっしゃるのか。

○平岡委員 そちらについて、まず現状を申し上げますと一時保育自体がなかなかいっばいで受け入
れられる状況がないというところがあります。確かに、例外的に緊急枠というものもある
んですが、そちらはどちらかというと、まさに緊急な状況で受け入れるようなところ
になっていまして、人数としても園で1人受けれるかどうかというような状況が公立でも
あります。

ですので、なかなか、コロナで臨時休園したときにその枠を使うということころまでは
ちょっと難しいところがありまして、現状ですと、皆さんご自宅のほうで保育をお願い
している状況に至っているというところがあります。

補足、お願いします。

○三浦委員 よろしいですか。何か補足したほうがよいことはありますか。

○小林委員長 ありがとうございます。

○小方委員 小金井の小方です。

緊急的な受入態勢はないのかというご質問じゃないですか。一時保育では、認可園の児童は一時保育で受け入れられないので、別の対策がないかというご質問だったのではないかと思いますがいかがですか。

○小林委員長 ごめんなさい、知識不足で。認可園に通っている人が休園になったからどこかの施設に一時的に保育してくれというのは、もう一切駄目ということなんですかね、例えば。

○平岡委員 平岡です。

ご説明が不十分ですみません。今、小方委員から言っていたような、もともとの制度の限界というのは一つあります。実際、市内でコロナ、保育園関係で出たのは今回で2例目ということになります。どこかでご説明をしたことがあったかもしれないんですけども、やはり通っていらっしゃる方で、できればどこかで預けられないかということで調整をしたケースも過去にあったんですけども、やはりどこも元々いっぱい、そういうときに余力として受け入れられる施設がないという実態があるので、結果としてなかなか難しいというような形になってしまったというのが事実です。

ですので、今回の小金井の場合だけではなくて、民間園で起きたときも実は同じで、その会社が運営している園というのがもう一つあったんですが、そちらのほうで少し対応できないかどうかというのを会社の中でも検討したようだったんですけども、やはり定員の問題などもあって受け入れることが難しかったというふうに聞いていますので、こちらとしても課題とは認識しているんですが、現状としてはそういうような対応になっているというところでございます。

○大澤委員長 いわゆる特別保育というような言い方を、先ほどの避難情報が出た場合にしましたが、基本的には休園します。でも、やはりお預かりしなければいけないお子さんがいた場合、預かる場合というのも、すみません、我々のところでは特別保育というような言い方をさせていただいているんですけども、今回みたいな形で、やはり園自体が休園というような形になってしまった場合、お預かりをする、いわゆる特別保育ができないかというところについて、現状としてはなかなかすぐできるというふうなところまでは至ってなく、前回のところの園があった場合の、そこは系列園でそういうふうに、どうしてもお預かりをしなければいけないお子さんがいた場合、お預かりができないかというお話もちょっとさせていただいたんですけども、なかなかそこもちょっと難しいというところ

ところで、この辺の、いわゆる特別保育の仕方というところにつきましては、まだまだ市としても課題があるかなというふうなのは現状としてあるかなと思います。

ほかにございますでしょうか。

どうぞ。

○後庵委員　　くりのみの後庵です。

民営化の検討をされているところでもうちょっと教えてほしいなというところがあるんですけども、検討にはいろいろプロセスがあると思っていまして、内部検討、その上に確認ですとか、今回で言うと、市長さんが決定権というか、判断されると思うんですけど、そこがどこぐらい会話ができていますのか。ちょっと会話という形なのか、会議なのか、ちょっと市役所の仕事というのはそこまで私は知らないんですけども、どういった段階にあるのか。もしくは、今そういうプロセスで言うと、今まだ保育課でしたっけ、とかでやっているのか。それとも、ある程度、市長と話す機会もあるのかというところをお伺いしたいというのが1個目。

あとは、話の中で市長さんが昔、民営化のあらゆる可能性を排除せずというところが、どういったお考えなのかというところを正しく理解できて、要は市長の考えを皆さんが正しく理解をして、そこに向けて動かれているのかとか、そういったプロセス面と方針的なものというのがどういった状況があるのかというのを、公開できることでいいので、少し我々にも情報を教えていただけませんかでしょうか。

以上です。

○平岡委員　　平岡です。

まず、役所の中でどこまでと、どのくらい話をしているのかという一つ目のところなんですけれども、現時点ですと、我々のセクションの中で揉んでいるというのが実態です。ただ、進捗については、一番上まで報告はしているんですが、具体的にどうする、こうするというようなところまで練り上がっていないので、こちらとしては、進捗、遅れているというような内容の報告が主な状況になっているというのが一つ目のお答えになります。

二つ目なんですけれども、あらゆる可能性という話の中で、市長まで確認を取った内容からすると、民営化自体を行っていくという考え方は変わらないというふうに聞いています。ただ、民営化という言葉で我々は今お話をしているのは、ほかの言い方をすると民間移譲という言い方をよくするんですけども、その民間移譲というやり方以外も

含めて考えるようにというふうな話は出ています。

ただ、それが、どこまで、どのように検討しているのかというのを、今ちょっと整理して説明できるところまで進んでいないので、民営化ということについては、方針は変わらないけれども、やり方と時期、それからスケジュールの部分ですね。そういうところについて、何度も皆さんに対して見直しのお話をさせていただいている状況もあるので、もう少しきちんと固めるようにという趣旨も言われていますので、それこちらとして時間をかけてしまっているのは申し訳ないんですが、そういうふうな形になっているところですよ。

以上です。

○大澤委員長 よろしいですか。

○後庵委員 ありがとうございます。こちら、今お聞きした理解をお伝えすると、今ご出席されている皆様が検討されていて、その検討されている案、ドラフトというのをどんどん成熟させていっていると。成熟させてはいつているんだけれども、まだ市長が、じゃあ、これで話していいよとかというところまでには至っていないので、皆様が今、頑張っているところというような認識でよろしいでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

おっしゃるとおりかと思えます。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

(なし)

○大澤委員長 それでは、その他につきましては以上とさせていただきたいと思えます。

ちょっと一旦休憩させていただきます。

休 憩

○大澤委員長 それでは、開会いたします。

その他の次回の日程でございますけれども、今回は1月16日の土曜日、こちらの801会議室で実施させていただきたいと思えます。

3月につきましては、ちょっと調整をさせていただく時間をいただき、日程等、場所等決まりましたら、また委員長を通じて皆様方にお伺いをさせていただきたいというふうに思っております。

以上で議題は終了いたしましたので、これをもって終了とさせていただきたいと存じます。お疲れさまでございました。

閉 会